

日本共産党 ところざわ 市政ニュース

●日本共産党所沢市議会議員団
市役所控室 04-2998-9278
tokokyou@cotton.ocn.ne.jp
2025年10月19日 No. 444

9月議会 外国人が優遇されているというのは本当？ 正確な情報に基づいた議論を

○前号から引き続き中井議員の
一般質問についてご報告します

7月20日に投票が行われた参議院選挙では、「外国人政策」が大きな争点となりました。ネット上では「外国人が優遇されている」といった

声が広がり、政府や政党も対応を打ち出しました。しかし、こうした主張の中には誤った情報や誤解に基づくものが多く、実際のデータを確認する必要があります。そこで、所沢市の実情について質問しま

した。生活保護については、全国的には外国人世帯の割合は約2.6%で「30%が外国人」という情報は誤りです。所沢市でも24年度末時点で外国人の生活保護受給世帯は1・79%、受給者数は2・23%と全国平均を下回っていました。また、認定基準についても国の定めに基づき日本人・外国人の区別なく審査しており、外国人が優遇されている事実はないと答弁しました。国民健康保険についても、

25年度末で被保険者は全体の6万8777人のうち外国人は2564人(4.2%)。医療費についても総額約214億円のうち外国人分は約2億4千万円(1.1%)で、全国と同様に医療の「過剰利用」とは言えないものでした。

所沢市に住む外国人の滞納理由も日本人と同様、生活困窮や離職などが主因で、24年度の差し押さえ件数は日本人2121件、外国人71件と外国人は全体の3%でした。

これらの結果から、所沢市において外国人が日本人より優遇されている事実はなく、社会保障を「奪っている」という主張は根拠がないことが分かりました。先の参議院選挙では正確でない外国人の情報がネットで広まり、いわれのない差別・偏見が広がってしまったと思います。しかも、



その誤った情報の一部は政治家からの発信だったということは大問題です。ネットではデマが広がりやすいです。特にショッキングなニュースほど落ち着いて、本当に正しい情報なのかを確かめる※ネットリテラシーが必要です。
(※ネットリテラシーとはデマや誤情報に惑わされず、情報の発信元や根拠を確認する力、また他人を傷つけない発信や個人情報を守る意識などのことを言います)

差別発言に修正・取り消しを 求めるも、認められず

9月議会において、会派「自由民主党・維新・参政・無所属の会」に所属する議員は、「COAアフリカ・ホームタウン事業に関する一般質問の中で、アフリカ諸国の治安や文化を挙げ「女性のバッグを奪う際に腕を切り落とす」「市場で盗みをした子どもが火をつける」といった具体的で暴力的な例を示し、「秩序ある日本人と共存できるとは思えない」と発言しました。

この内容について、日本共産党花岡議員が「一

部の国籍の人々に対して差別的印象を与える不穏当な発言であり、所沢市議会議員政治倫理条例に反する」として、発言の修正または取り消しを議長に求めました。これに対し、同会派の議員が「特定の国を名指ししていないため、確認の必要はない」と反論。議長もこれを受け、発言の是正を求めず審議を続行。結果、差別的発言への対応はされず議会が進められました。



無料法律生活相談会

10月25日(土)

9時30分～11時00分

中央公民館学習室7号

小林善亮弁護士

30分予約制

連絡先 中井議員

090-6252-8862

遺産相続・近隣トラブル

離婚・生活相談など

何でもご相談ください

主催 日本共産党所沢市議団

花岡けんたの議会報告



10月4日に自由民主党の総裁選挙が行われました。

日本共産党などの9党・会派は9月10日には臨時国会の招集を求める要求書を提出したにも関わらず、自民党は党内の権力抗争に明け暮れました。

物価高等に苦しむ国民の要求を無視し、党内事情を優先した事は許されません。

総裁選の内容も民意とかけ離れたものでした。

五人の候補者は消費税の減税には後ろ向きでした。

そして、自民党政治が国民から見放される主因となった、裏金問題を終わった事のように扱い、金権腐敗政治に無反省です。

新総裁の高市氏は要職に裏金議員の登用も辞さない姿勢です。

自民党の裏金問題を暴いたのは日本共産党の「しんぶん赤旗」です。

変わることでできない裏金自民党の延命は許されません。

政治活動又は宗教活動を目的としないこと。」とある。

二点目は、所沢市が解散命令が出ている旧統一教会の関連団体にお墨付きをあたえてしまう事である。

私の質問を受け、所沢市は当該団体に関して「宗教的色彩が強い」と判断し、合意の取り交わしを継続しない事が示された。

又、小野塚市長は行政が解散命令が出ている団体にお墨付きをあたえる行為は「断固としてあつてはならない」と答弁した。

正体を知らない人が教団の勧誘に巻き込まれる恐れがあり、公益活動をしているとして教団

旧統一教会関係団体にお墨付きを与えるべきではない

東京新聞の記事にて、所沢市の環境美化事業（アダプト・プログラム）にボランティア団体として、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の関連団体、「APTE所沢」が活動している旨の記事があった、私は二つの観点で問題があると議会でも迫った。一点目は要綱違反である。所沢市の「所沢市アダプト・プログラム実施要綱」には、（団体資格）として、「（2）

のアピールにも利用されうる。

所沢市で日本初のマイナンバー不正利用！？

所沢市において日本で初めて職員の職権濫用により、特定個人情報収集され、不正利用がされる事件が起きた。

私は質問で特定個人情報の取得は「住基ネット（氏名、生年月日、性別、住所＋マイナンバー）」と「情報提供ネットワークシステム（所得情報＋マイナンバー）」とで二回行われている事を指摘。

対策が示されていない、「情報提供ネットワークシステム（所得情報＋マイナンバー）」に關しても対策を求めた。

市はシステム操作できる職員を限定し、システムログを確認することを示した。

私はマイナンバー制度の生涯変わらない12ケタの番号をつけ、多分野の個人情報にマイナンバーを紐づけしていく事で、行政が個人の生活全体を把握できてしまう、プライバシー権の重大な侵害につながる問題点を指摘。

市長は「公務の信用を失墜させ、不安をあたえるものであり、市民の皆様に深くお詫び申し上げます。」と答弁した。

複数の資格確認方法
煩雑なマイナ保険証

令和7年6月27日の厚生労働省からの通知で、令和八年三月

までの暫定的対応として、「期限切れの国民健康保険証」や「資格情報のお知らせ」でも保健情報を確認する「証明書」として利用できることが示された。

私は超法規的対応について、政府が進める強引な紙の健康保険証の廃止が破綻していると指摘し、政府に対し紙の健康保険証の利用停止の撤回を求めるよう迫った。

答弁はマイナ保険証は医療DXを推進するための基盤とした上で、法令や国の通知に沿った運用を行い、市民に便利だと実感できる制度とする為、必要に応じて国に対し要望等を行っていくとした。

イベントや公共施設における女性用トイレの配慮について

令和7年7月10日の内閣府男女共同参画局総務課からの通知にて、イベント開催時に仮設トイレを設置する場合は、男女で混雑の程度についてなるべく差が生じないよう、バランスを取る事を求める通知があった。

それを受け私は災害援助における人道憲章と人道支援における最低基準で、男性トイレと女性トイレの割合を1対3にすることが推奨されていることから、それに基づく公共施設の新改築やイベントの際の男女比の改善を求めた。

イベントと公共施設等を管理・所管する所属を含め広く啓発を

OTC類似薬保険適用除外
市の補助の継続を

自民党・公明党・日本維新の会の3党の合意、【OTC類似薬の保険給付のあり方の見直し】により、「子ども医療費助成制度」「ひとり親家庭等医療費助成制度」「重度心身障害児等医療費助成制度」のOTC類似薬が助成から外されることが示された。

市として助成継続を行う事と、国に中止を求めるよう迫った。

市民と市町村に過剰な負担とならないよう国に要望する事が示された。

その他

・基地返還について、「広報とろさわでの基地問題特集」「基地跡地利用アンケート」「基地対策室の出前講座の拡大」を求めた。

・環境省の「福島県内除去土壌等の県外最終処分の実現に向けた復興再生利用等の推進に関するロードマップ」に所沢市も含まれていることから、除外を求めた。

・次期地域公共交通計画に「デマンド交通の実施」「運転士への補助」「地域公共交通専門職員の配置」を位置付ける事を求めた。